

# 新地域密着型金融推進計画進捗状況

自 平成19年4月 1日  
至 平成20年3月31日

## 目 次

1. 当金庫における地域密着型金融の考え方.....	1
2. 具体的な取組策.....	1
(1) 企業のライフワークに応じた取引先企業の支援強化.....	1
(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底.....	1
(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献.....	2
(4) 協同組織金融機関としての取組み.....	2
3. 地域密着型金融推進計画進捗状況.....	3
4. 経営改善支援等の取組み実績.....	8
5. 本計画取組みによる主な成果.....	9

## 新地域密着型金融推進計画

当金庫は、過去2回に亘り金融庁が示したアクションプログラムに基づき「リレーションシップ・バンキング」あるいは「地域密着型金融」の機能向上に関する計画を策定し推進してまいりました。

当金庫では、「信用金庫は地域経済発展のための共有財産的存在である」と認識し、独自の経営課題として「地域密着型金融」の推進に対して恒久的に取り組む必要があると考えております。

したがって、平成19年度から新たに「新 地域密着型金融推進計画」(19年4月～21年3月)を策定し推進してまいりました。この度、この計画における初年度の進捗状況について取りまとめをいたしましたので、ここに公表いたします。

### 1. 当金庫における地域密着型金融の考え方

当金庫では、顧客組織“せいしんビジネスクラブ”を中心に地域密着型金融を推進しております。

同クラブは、お取引先企業の発展を願い会員間の異業種交流を目的として平成9年に発足したもので、現在では、同クラブ会員を中心とした各種セミナーの開催、東海地区信用金庫協会が主催する“ビジネスフェア”への参画、あるいは特色ある企業等への視察旅行など、多種多様な企画を実施し、会員の皆様には大変好評を博しております。

当金庫では、このクラブの活動が、必ずや地域密着型金融推進計画の達成に繋がり、延いては地域経済活性化への牽引力となるものと確信しており、今後も会員の皆様のお役に立てる企画を行ってまいります。

### 2. 具体的な取組策

#### (1) 企業のライフワークに応じた取引先企業の支援強化

当金庫は、創業・新事業、経営改善といった企業の各ステージにおいて、“せいしんビジネスクラブ”を通じて情報の提供を行ってまいりました。

また、事業再生においては本部の専門部署が営業店と一体となって対象先を訪問するなどして、経営者の方々に経営改善に向けた意識の醸成に努めてまいりました。

企業の事業承継については具体的な事案は発生いたしませんでしたが、案件が生じた場合に備え、職員のFP(ファイナンシャル・プランナー)能力を向上させるべく自己啓発を促すとともに、FP技能士資格の取得を奨励しております。

#### (2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

従来型の不動産担保や第三者保証に依存した融資手法から脱却し、岐阜県信用保証協会の制度融資などを活用し、企業の資金需要に応じてまいりました。

中小企業の新たな資金調達手法として他行庫からのシンジケートローン案件のオファーに対して積極的に検討いたしましたが、残念ながら、実績には繋がりませんでした。

### (3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

当金庫では四半期ごとに地域の景況調査を行っており、これに併せて19年度においては3回の特別調査を実施いたしました。今後も、これら調査結果での景況感を共有し、できる限りのアドバイスを行ってまいります。

また、社会問題化している多重債務問題については専用のローンをご利用いただいております。今後も積極的なPRを行うとともに、予防策としての小・中学生向けの金融教育にも目を向けてまいります。

### (4) 協同組織金融機関としての取組み

#### ① ガバナンスの強化

平成20年度は当金庫創立60周年にあたり、これを機会にディスクロージャー誌およびホームページを全面的にリニューアルすることとしております。これらについては、単にリニューアルするのみならず、「利用者視点に立った、判りやすい」ものを作成することに心がけてまいります。

また、引き続き総代以外の会員の皆様からのご意見をいただき、これらのご意見によるパブリック・プレッシャーを当金庫の経営改善に向けて利用させていただくこととしております。

#### ② 人材育成

前述のFP技能士の養成だけでなく、お取引先に有用なアドバイスができるよう、企業を見る目を養うことも重要な課題として捉えており、業界団体が実施する「目利き力養成講座」に職員を派遣しております。

#### ③ リスク管理態勢の向上

昨年度、金融検査マニュアルが改訂されたことを踏まえて、当金庫のリスク管理態勢を全面的に見直しました。

その一環として、「リスク管理の基本方針」を制定し、個別リスクに係る規定についても大幅に改訂し、リスクコントロール、リスク極小化に努めていくことといたしました。

#### ④ コンプライアンスの徹底

金融機関の業務は、そのすべてが法令を基本として遂行されるものであります。

特に、個人情報保護については、営業店では定期的に自主点検を行い、これに係る事故防止に努めております。

また、コンプライアンス態勢についても逐次見直しを行うとともに、集合研修や臨店指導を行い、コンプライアンスの重要性など、意識の醸成に努めております。

以 上

### 3. 地域密着型金融推進計画進捗状況 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

項目	具体的取組み	推進スケジュール		取組み状況
		19年度	20年度	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化				
(1) 創業・新事業への支援				
① 産官学の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜大学の「地域交流協力会」及び岐阜高専の「地域連携協力会」の行う各種事業への積極参加</li> <li>・産学連携の具体的な取組内容について営業店へ周知徹底</li> <li>・各種産学連携セミナー等への参加</li> <li>・取引先のニーズと大学・高専のシーズのマッチング支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学連携の具体的な取組内容について営業店へ周知徹底</li> <li>《岐阜大学》</li> <li>☆遊GO、プレ遊GOへの積極参加</li> <li>☆産官学融合センターのコーディネーターとして連絡協議会への参加</li> <li>《岐阜高専》</li> <li>☆営業店を通じた「地域連携協力会」のPR</li> <li>・取引先のニーズと大学・高専のシーズのマッチング支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19年度の取組みを継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜高専が地域連携協力会を発足（会長：当庫理事長）</li> <li>・岐阜大学交流空間「遊GO」への職員参加（44名）および取引先参加（5先）</li> </ul>
② 地元商工団体等との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元商工会、地公体との連携強化</li> <li>・中小企業支援センターの相談機能の活用</li> <li>・信金キャピタル、政府系金融機関との情報共有および協調融資</li> <li>・ビジネスクラブの活動を通じた創業・新事業向け情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元商工会、地公体との連携強化</li> <li>・中小企業支援センターの相談機能のPR</li> <li>・信金キャピタル、政府系金融機関との情報共有</li> <li>・ビジネスクラブの活動を通じた創業・新事業向け情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19年度の取組みを継続するとともに、具体的な推進体制の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業店に対し、信金キャピタル(株)のM&amp;A案件情報を還元。</li> </ul>
③ 多様な商品提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府系金融機関との連携を強化し、協調融資等にて取組強化を図る</li> <li>・信用保証協会の「創業支援資金」の積極活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府系金融機関との連携を強化し、協調融資等による取組強化</li> <li>・信用保証協会の「創業支援資金」の積極活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19年度の取組みを継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県信用保証協会の「創業支援資金」等のPR</li> <li>・岐阜県信用保証協会による保証制度融資（創業支援資金含む）勉強会実施(5/23、11/8)</li> <li>・平成19年度の創業・新事業支援融資実績：14件／295百万円（アパート資金除く）内、岐阜県信用保証協会の「創業支援資金」の取扱実績：5件／28百万円</li> </ul>

### 3. 地域密着型金融推進計画進捗状況 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

項目	具体的取組み	推進スケジュール		取組み状況
		19年度	20年度	
<b>(2) 事業再生の支援</b>				
① 事業再生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>「企業再生支援実施要領」に既存支援先の見直し規定を折り込む</li> <li>企業経営支援室と営業店とが一体となった再生支援先への指導</li> <li>再生支援先の意識改革の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「企業再生支援実施要領」の見直し</li> <li>臨店による再生支援先の状況把握</li> <li>支援室による再生支援先への訪問を実施し、経営者の意識改革の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>19年度の取組みを継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「企業再生支援実施要領」の改正 企業支援対象先の見直し規定の折り込み。</li> <li>再生支援先の意識改革 選定16先への本部担当部署と営業店が一体となった経営改善意識改革の醸成。</li> </ul>
② 再チャレンジに向けた支援態勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>保証協会の再チャレンジ保証制度の認識と活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保証協会の再チャレンジ保証制度の認識と活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>19年度の取組みを継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜県信用保証協会による勉強会を実施し、再チャレンジ保証制度の認識を深めた。</li> </ul>
<b>(3) 経営改善の支援</b>				
経営改善に関する情報の取得と提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部機関を活用した経営情報の提供</li> <li>地区協会による「ビジネスフェア」への参加と出展企業への支援</li> <li>「しんきんビジネスマッチング」を活用した仲介情報の提供</li> <li>信金キャピタルの活用によるM&amp;A情報の提供と態勢整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部機関を活用した経営情報の提供</li> <li>地区協会による「ビジネスフェア」への参加と出展企業への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務・経営管理能力向上のためのセミナー開催</li> <li>「しんきんビジネスマッチング」を活用した仲介情報の提供</li> <li>信金キャピタルの活用によるM&amp;A情報の提供と態勢整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区協会主催の「ビジネスフェア2007」への出展企業5社、個別商談会受注企業2社、視察ツアー参加顧客102名(11/7)</li> <li>「ビジネスフェア2007」実施後出展企業による意見交換会実施。</li> </ul>
<b>(4) 事業承継の支援</b>				
① 事業承継の情報提供及び支援強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>F P 技能士の養成</li> <li>税務相談会、法律相談会のPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>税務相談会、法律相談会のPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>F P 技能士の養成</li> <li>税務相談会、法律相談会のPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>F P 技能士資格試験合格者 2級：3名、3級：12名</li> <li>〔 資格取得者総数 2級：23名 3級：63名 〕</li> <li>税務相談会相談者数9名</li> <li>法律相談会相談者数24名</li> </ul>
<b>2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</b>				
<b>(1) 不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資手法の徹底</b>				
① 商品提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>A B L 商品の開発</li> <li>保証協会の「ぎふ無担保スピード資金」の推進</li> <li>保証協会の「流動資産担保融資</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A B L 商品の拡充</li> <li>保証協会の「ぎふ無担保スピード資金」の推進</li> <li>保証協会の「流動資産担</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>19年度の取組みを継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリックス自動車(株)との保証提携による事業者向け動産担保ローン「せいしん車両購入ローン」の発売(1/4)</li> <li>ぎふ無担保スピード資金取扱実績</li> </ul>

### 3. 地域密着型金融推進計画進捗状況 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

項目	具体的取組み	推進スケジュール		取組み状況
		19年度	20年度	
	保証制度」のPR ・その他担保・保証に過度に依存しない融資商品の推進	保融資保証制度」のPR ・その他担保・保証に過度に依存しない融資商品の推進		21件／158百万円 ・売掛債権担保活用資金取扱実績 15件／26百万円 ・リード・キャッシュカウ取扱実績 95件／307百万円
(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底				
① 資金供給手法の多様化	・シンジケートローン組成への参加の検討 ・信金中金のサポート商品の学習と取扱いの検討 ・地域再生ファンド組成への参加	・シンジケートローン組成への参加の検討 ・信金中金のサポート商品の学習と取扱いの検討	・シンジケートローン組成への参加 ・信金中金のサポート商品の学習と取扱いの検討 ・地域再生ファンド組成への参加	・シンジケートローン組成への参加検討実績 2案件について検討（いずれも組成への参加は見送り）
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献				
(1) 地域情報の提供				
① 景況調査の充実	・景況調査アンケート項目の見直しの検討 ・特別調査の実施	・特別調査の実施	・アンケート項目の見直しの検討 ・特別調査の実施	・景気動向調査に併せて特別調査を実施。 第19回：「猛暑が景気に及ぼす影響について」 第20回：「イータックスの利用状況について」 第21回：「原材料・仕入価格の上昇による影響について」
(2) 地域経済活性化に向けた情報提供等				
① 公民連携	・本巣市観光協会実行委員会への参加 ・業界団体が実施する「地域活性化推進セミナー」への参加	・本巣市観光協会実行委員会への参加 ・業界団体が実施する「地域活性化推進セミナー」への参加	・業界団体が実施する「地域活性化推進セミナー」への参加	・業界団体による「地域活性化推進セミナー」に参加。 ・本巣市観光協会実行委員会に参加。
② 地公体等の事業への参画	・子育て支援事業への参加の検討		・子育て支援事業への参加の検討	・20年4月より子供向け預金商品（アンパンマン積金、アンパンマン通帳）の取扱い開始を決定。
(3) 多重債務者問題への役割発揮				
① 金融経済教育	・地元小・中学生向け金融教育の実施について検討		・地元小・中学生向け金融教育の実施について検討	・金融教育実施について検討するための情報収集を開始した。
② 相談機能の充実	・法律相談会のPR	・法律相談会の積極的PR	・19年度の取組みを継続	・法律相談会相談者数24名

### 3. 地域密着型金融推進計画進捗状況 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

項目	具体的取組み	推進スケジュール		取組み状況
		19年度	20年度	
③ 商品の積極的PR	・多重債務を一本化するための商品、おまとめローン新「二人三脚」のPR	・多重債務を一本化するための商品、おまとめローン新「二人三脚」のPR	・19年度の取組みを継続	・多重債務を一本化するための商品、おまとめローン「二人三脚」のPR実施。 (12月10日より貸付条件を緩和) ・おまとめローン「二人三脚」取扱実績 26件/61百万円
4. 協同組織金融機関としての取組み				
(1) ガバナンスの強化				
① 情報開示の充実	・半期開示の内容についてその充実策を検討 ・判りやすい情報開示の研究	・半期開示の内容について充実策を検討	・半期開示の内容について充実策を検討 ・判りやすい情報開示の研究	・半期ディスクロージャー誌について従来どおりとし、新年度の通期ディスクロージャー誌と併せた検討を行う。 ・ディスクロージャー誌編集専担者を配置し、全体的な見直しを開始した。(20年版で実施予定)
② 一般会員からの意見募集	・一般会員からの意見募集	・引き続き意見募集を実施し、経営に反映	・19年度の取組みを継続	・一般会員からの意見募集を目的として、「出資配当通知書」郵送時に意見を求める返信用はがきを同封した。
③ 総代会機能の向上	・新規出資会員への適切な説明手法の検討		・新規出資会員への適切な説明	・ディスクロージャー誌に「総代会制度」および総代名簿を掲載している。
④ ホームページの充実	・掲載項目の見直し、充実 ・全面的なリニューアル	・金利情報等の掲載を検討	・掲載項目の見直し、充実 ・全面的なリニューアル	・ホームページの全面的なリニューアルについて検討を開始した。 (20年7月ごろを目処にリニューアルを予定)
(2) 人材育成				
融資審査能力の向上	・業界団体が実施する「目利き力養成講座」等への派遣 ・融資役席者会議での事例をテーマにした研修の充実	・業界団体が実施する「目利き力養成講座」等への派遣 ・融資役席者会議での事例をテーマにした研修の実施	・19年度の取組みを継続	・全信協が実施する「目利き力養成講座」に2名の派遣を実施 ・融資役席者会議での事例をテーマにした研修の実施
(3) リスク管理態勢の整備				
① 信用リスク管理	・大口与信先の取引方針決定と管理の充実 ・アパート資金の審査基準の見直しと残高管理	・大口与信先について、一定のサイクルで取引方針を定め管理 ・大口与信先上位20社の	・信用格付制度の要領策定 ・信用格付による自己査定 の検討	・(株)情報企画の信用格付システムを導入し、格付結果と自己査定結果の検証を実施。 ・信用リスク管理規定に基づき大口与信先等の把握管理を行い、ALM委員会にて報告

### 3. 地域密着型金融推進計画進捗状況 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

項目	具体的取組み	推進スケジュール		取組み状況
		19年度	20年度	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信用格付制度の要領策定</li> <li>・信用格付による自己査定の見直し</li> <li>・不良債権の削減と管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残高及びアパルト資金等の業種偏重の管理態勢の構築</li> <li>・不良債権の削減と管理</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・することとした。</li> <li>・不良債権については半期毎に営業店別に管理債権回収目標を設定し毎月進捗状況の確認を行った。</li> </ul>
② 市場リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕組債、仕組預金、仕組貸出の保有限度枠の設定</li> <li>・仕組預金、仕組貸出のVaRの算出</li> <li>・リスク資本配賦に基づく限度枠の設定</li> <li>・市場リスク管理規定の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕組債、仕組預金、仕組貸出の保有限度枠の設定</li> <li>・仕組預金、仕組貸出のVaRの算出</li> <li>・市場リスク管理規定の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスク資本配賦に基づく限度枠の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕組債、仕組預金、仕組貸出の保有限度額を設定。</li> <li>・仕組預金、仕組貸出のVaRを19年9月末から算出。</li> <li>・規定を見直し、新たに市場リスク管理規定を制定。</li> </ul>
(4) 法令等遵守態勢の強化				
① 顧客保護態勢の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「個人データ自主点検要領」に基づく自主点検の実施</li> <li>・「個人データ内部監査要領」に基づく監査部監査の実施</li> <li>・営業店指導の徹底</li> <li>・金融商品に関する内部管理責任者向けのコンプライアンス研修の継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「個人データ自主点検要領」に基づく自主点検の実施</li> <li>・「個人データ内部監査要領」に基づく監査部監査の実施</li> <li>・営業店指導の徹底</li> <li>・金融商品に関する内部管理責任者向けのコンプライアンス研修の継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19年度の取組みを継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人データの管理状況について、四半期ごとに自主点検を実施。</li> <li>・事務部の臨店や内部役員者会議、集合研修を通じた指導を実施。</li> <li>・内部監査時に監査を実施。</li> </ul>
② コンプライアンス指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス臨店指導項目の見直しと強化</li> <li>・コンプライアンス態勢の見直し</li> <li>・コンプライアンスオフィサー会議の充実</li> <li>・自店検査におけるコンプライアンスの強化充実</li> <li>・内部監査における検証の深化</li> <li>・コンプライアンス研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンスに係る金融機関の違反事例を踏まえた指導項目の見直し</li> <li>・コンプライアンス臨店指導の実施</li> <li>・コンプライアンス態勢の見直し</li> <li>・不祥事件事例等に係る再発防止策の周知徹底</li> <li>・外部講師による研修</li> <li>・新入職員研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19年度の取組みを継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入職員に対し事故防止に関する研修を実施</li> <li>・平成19年度営業店監査指標の改正</li> <li>・「CSR（企業の社会的責任）と内部統制」をテーマに、外部講師による研修を実施</li> <li>・全部署に対してコンプライアンス臨店指導の実施</li> <li>・コンプライアンス関連規定等の見直し コンプライアンス委員会規定 コンプライアンス基本方針 不祥事件の取扱いに関する規定</li> <li>・コンプライアンス・オフィサー会議で不祥事件事例等に係る再発防止策を周知</li> </ul>

#### 4. 経営改善支援等の取組み実績

	期初 債務者数 <sup>(注1)</sup>	うち 経営改善支 援取組み先 数 <sup>(注2)</sup>	αのうち			経営改善支 援取組み率	ランクアップ 率	再生計画策 定率	
			期末に債務者 区分がラン クアップした 先数 <sup>(注2)</sup>	期末に債務者 区分が変化 しなかった 先数	再生計画を策 定した先数				
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α	
正常先 ①	1,808	0		0	0	0.0%		-	
要 注 意 先	うちその他 要注意先 ②	264	101	8	80	12	38.3%	7.9%	11.9%
	うち要管理先 ③	18	15	4	10	3	83.3%	26.7%	20.0%
破綻懸念先 ④	62	39	3	31	1	62.9%	7.7%	2.6%	
実質破綻先 ⑤	31	8	1	6	0	25.8%	12.5%	0.0%	
破綻先 ⑥	7	0	0	0	0	0.0%	-	-	
小計 (②～⑥の計)	382	163	16	127	16	42.7%	9.8%	9.8%	
合 計	2,190	163	16	127	16	7.4%	9.8%	9.8%	

注1 期初債務者数（A）は、19年4月のもので、個人ローン、住宅ローンのみの先は含んでおりません。

注2 期中に完済された債務者は、経営改善支援取組み先（α）には含んでおりますが、ランクアップした先数（β）には含んでおりません。

注3 本表には、期中に新たにお取引を開始された債務者は含んでおりません。

## 5. 本計画取組みによる主な成果

	実績	備考	
経営改善支援取組み率	42.7%	経営改善支援取組み数／期初債務者数	
再生計画策定率	9.8%	再生計画策定先数／経営改善取組み先数	
ランクアップ率	9.8%	ランクアップ先数／経営改善取組み先数	
創業・新事業支援融資実績	14件 295百万円	左記の計数にはアパート建設資金は含んでおりません。	
	うち、岐阜県信用保証協会の「創業支援資金」の利用実績		5件 28百万円
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資への取組みの計数	132件 492百万円	当金庫では、内書きの4種類のローンを「個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資」と定義しております。なお、“せいしん車両購入ローン”は19年1月から発売を開始しました。	
	うち、せいしん車両購入ローン		1件 1百万円
	うち、ぎふ無担保スピード資金		21件 158百万円
	うち、売掛債権担保活用資金		15件 26百万円
	うち、リード・キャッシュカウ	95件 307百万円	
FP技能士資格試験合格者	2級合格者数：3名 3級合格者数：12名	左記の合格者数は19年度での技能士資格試験の合格者数です。この結果、資格取得者総数は次のとおりとなりました。 2級：23名 3級：63名	
おまとめローン “二人三脚”取扱い実績	26件 61百万円	複数の借入れをまとめるためのローン商品です。	
不良債権比率	6.85%（前期末比0.34pt改善）	金融再生法開示債権比率	